



ひらせい リフォーム 施工事例

リフォームかわら版
vol.5

今回は、**家族のコミュニケーション**についてのお話です。

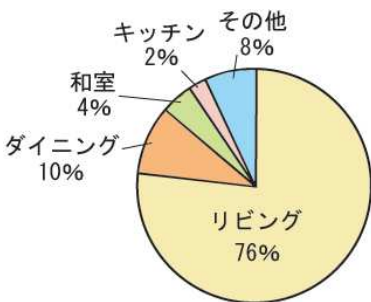
子供の成長にとって大切なことは「親子のコミュニケーション」と答える人が多いです。しかし、現実的には親子のコミュニケーションがうまくとれていない、ひとつ屋根の下で暮らしているのに親も子も互いに無関心…そんな家族が増えているのも事実です。今回は、家族のコミュニケーションについて「住まい」の視点から考えたいと思います。



■ 家族が揃いやすく、一緒に過ごす時間を多くとれるのは、「リビング」「ダイニング」。

学校での出来事を聞いたり、一緒にお風呂に入ったり、全員で食卓を囲んだり...と住まいの中で親子のコミュニケーションも様々。家族とのコミュニケーションをとるのに重要な場所は「リビング」や「ダイニング」と言われています。「リビング」や「ダイニング」を家族が集まりやすく、コミュニケーションをとりやすい場所に改善することは子供の成長にプラスになるだけでなく家族の絆を育む機会をつくることにもなりますね。

現在の住まいで子供とのコミュニケーションを最も多くとる場所はどこですか？



時間と空間を共有できる「リビング」は、親子のコミュニケーションを最も多くとる部屋であることがわかります。

「住まい」の工夫・改善のポイント

- ◆自然と家族が集まりやすくコミュニケーションがとりやすいリビング・ダイニングの間取りにする。
(玄関と個室の間に必ずリビングを通る動線をつくるなど)
- ◆居心地の良いリビング・ダイニングにする。
(無垢材や珪藻土の自然素材を使用した癒しの空間や明るい広々とした空間にするなど)
- ◆料理をしながら子供と対話できる対面キッチンへ。
- ◆家族共有のスペースをつくる。
(家族共有のパソコンルームやウッドデッキなど)

親子のコミュニケーションのあり方は様々です。子供の成長過程やシチュエーションによっても変化していきます。「住まい」は家族が集う場所。癒され、くつろげる「住まい」づくりは、親子間のコミュニケーションを図る第一歩ではないでしょうか？ お互いのプライベートは守りつつ、歩み寄り、見守っていく。家族間のつながりをもっと大切に。ひらせいでは、そんな家族のコミュニケーションを考えた住まいづくりのご提案をさせていただきます。

【施工例】

LDK



住まいの中心に配置したLDK。子供部屋から出るとリビング・キッチンがワンフロアに。キッチンからも子供たちを見守れます。(S様邸)

ダイニング



木のぬくもりある癒しの空間にしたらダイニングに自然と家族が集まるようになりました。(K様邸)

パソコンルーム



家族共有のPCルームは眺めが抜群！(I様邸)

週末はバーベキューで家族団らん。(W様邸)

アウトドアリビング



お気軽にお問い合わせ下さい！

0120-312-341



エクステリア
住まいのお手伝い
事業部